

滑
 龍
 印
 興
 家
 田

遠
 1810
 4止



へ遠13
1810
4止



滑枕^{ろくせいの}即^{そのと}真^ま像^{ぞう}卷^{まき}之^の四^よ

目次^{めいじ}

高^{たか}香^{かう}の^のたこ

神^{かみ}ご^ごろ

佛^{ぶつ}壇^{だん}

遠^{とほ}目^め鏡^{かみ}

正月^{しょうげつ}十日^{じゅうにち}

初^{はつ}あま^{あま}び

ちぬ^{ちぬ}ぐり



花きりしれ

滑稽者即與新卷之四

商賣だこ

はるあしは大坂あり川を船釣矢ち
うささささうある人即與は製と

日中聖代まで戸さぬ御代とあり次人ども一
ささささあよととそで六はまぬとゆきお返し
いつそのり唐くまささやと云庫まで大船一ささ
ささささけ船よのりさるまあささせんささ周防あど
こくて下の園小倉ささ金ゆくらさ海上のささ
とあささバ日和をえんささ海のまん中でおはらよ
風がかりて大志け船はゆき大山のまさを波

どろり^ろ 艦^{かん}く^く して^{して} ほど^{ほど} 後^{のち}ハ^ハ 艦^{かん}を^を 帆^かが^が ー^ーら
く^く け^け 船^{せん}く^く ー^ーま^ま ー^ーバ^バ ー^ーも^も 船^{せん}の^の ー^ーま^ま ー^ー人^{ひと}
と^とも^も 天^{てん}よ^よう^うの^の ー^ー造^{ぞう}く^く ー^ー舟^{ふね}を^を ー^ーま^ま ー^ーむ^む ー^ー念^{ねん}
佛^{ぶつ}た^たの^の ー^ーま^ま ー^ー守^{しゅ}も^も ー^ー

神^{かみ}ぞ^ぞる

厄^{やく}ち^ち ー^ーひ^ひま^ま ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と
夜^よの^の ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と
り^り ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と
た^たを^を ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と

王^{わう} ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と
り^り ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と
も^も ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と
お^お ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と
ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と
ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と
お^お ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と
お^お ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と
お^お ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と
お^お ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と ー^ーま^ま ー^ーお^おと^と

松の志ありく荒神の行のめをんそこれ松の
東年ハ何でも松子がよごん志よまのりや
何としてアレ中巻の下子らんやんせ

佛櫃

さる豪家のむまこ新町の志まよこつて毎えの
通ひ終るゝひのけこもといふのはけ合もそふ
くくらまね親仁のまうや名ま切てかんとう
せやとまなくと親親中より合て怪くやんあ
いつそああのを肉へ入てやうま志まぞであらあ

肉身の子で勤當しては身代を他人よやうが尼めて
もあいとふ承知を親仁とたうまはけうのをまを
孫びまホして肉へ入てやまの神ハ志ま大よ志まつて
二月あまのハ親をさして夜あそびとやあ二親も
その不らあんど大よあろこま生る月又もくらひ小大
ハ付やまう強よそつやうままこやう南があひの
夜とあり日とまのりごあこまの親親中あ
てたうそ怪くと三笑をまねバむまここし
そあよあまのぐらまこしむらりそやうよあ

あうりあさるが親仁とんもちつと戻んしてト
さうりませけつるも二百まで俵ぐん賃あがり
ちり海船津を年りとさうりや

○ 去遠月うり

海系の指板屋のかぶら目さつじしを親うさ
けけ徳あのみんあにせうけはせよ儀よ大徳の
あくしあがうく子連友眼あさるふ全收せー
ゆん是く日人あしの利生と出入の者をつけておれ
まいつりさせたるよ何ぐ平生するまの弁んず殊し

けまばあさうらうりうけあがるうち出入のものぞ
えうしあいそこよなりのさうせともあまなさを
ども年ハ十二にあまばさすぶる依のやうふはも
せまごうらうくあがるうちあし海あのがるふうを
月がひんせせいの親仁をえつつけコレあつさんじ
る送るふあつことよせを去遠月うりしてこの方
とんせせかられといふ也(去遠月がひんといふ町所
さかあてのまばはしをさうらうことよやまゝいや何と
いふあうやあかくねたれど目あうーがふふあつて

を堂月が子見せしてまきつる法いあまるといふ
草をいあつるなりとあてがひ親仁まづ向ふ
えり西ハ一の系おむろづまよまよ心ち水燈の
天神とぞん丁どやけいあかいう禿イ
親仁叔とあつる船山平野平長令閣中候織ハ
あづつる表の中の一のちり言いあつる
よやけ内でおかいう禿イ
よまきつくと棟門とさ大内裏はのりあつる

建はぐく堂上之方の西屋東ハ寺町今出川何と
けあつるでふかいう禿イ
かづといハ坂大谷双林寺さかん山ちとん院
あんぜんハ豆磨磨の意水こちづぐだんの大和
ぢー江奈の芝居さかん町木登町あつるハ
ごうごうと通ハるる宿屋何とけあつるでい
う禿イ
千人切こあつる六条志もぢや町おかてあつるの
あつる堂七条通た人を西よんちる東ちの塔



どややけ月で六かいうきイマくとししく遠
月子をたわつまがうつこしくあつらんアノ言い塔
のあちふよ柳ヤルミの本のあるおがこもの内うちや祝仁
とんてムウアノ柳ヤルミのあるおがうちうハテお花屋の
姫むすめもやませさるんトヤ

正月十日

北きたのそくどん系けいう仕しうよこそ太おをりあいもの
まてハツはつ時ときふよ屋やの法はふ人にんがあ仕しあて料理人
ふちうてをわくそそ夜よううせうぶが付つてあをこ

ちよこニ下しためでの出合であひある時ときたるさあの志しあやうある
日ひ件けんの法はふ人にんがあ系けいありて屋や仕しあひ室むろあてて侍し
のまぐね林はやし乃の法はふ人にんがでもを寄よりう出であるや屋や仕し
まあひううう宵よ志しまあひはききここての長なが床とこあうあい
出いて次つぎあうけもあいるせいふとあままんで仕しあひ
のうけらえどぶらえんがあうう法はふ人にんがのままひびらら
料理人りやうにんのあちのあままま汗あせ心こころよかりをあいぬるう
くとまあつて居いままどいあぬゆへ屏へい風ふうのそとうら
そあとうううハは笑わらひらハは中ちゆうくはまあああ

ていふいぬぬあんがいのちとく小ぢくそんハ濱門さん
まろくもてますかあやま忠助さんコレナアあまのこ
いあるがわるいをア料理人フウいあるがわるもすが屋
ーい我さんよさつうのりがあさそふかあやまよ何
いひドやけはんががううあんであぬまのあア
料理人あんさあぶドや奥さんよならあとああも
まくあぬさういドやあやまろあもーろああよ何
いひドやこちやそんあさげんドやあんタアいあ
るでいつそあをいんでいつとあんまを教へるとし

はんがどあそーと向あゆあやまろあまなと
あひあうろあゆあさひあぬあ車のをあ口を
あせそいあゆあをうあーあはん何トやあが
あろくことあこのあドや料理人それろろ我さんが
あまんせろよあろーああやまろあをあをあ
ああかのあを車あてるはんがふーあを教へて何
トや雷でもあろろあ

初あすび

あやまあんちあろとあろあーあせああどあうく

何^いトヤ^や毒^{どく}う^う毒^{どく}ハ^ハイ^イ初^{はつ}毒^{どく}し^しこ^こご^ごり^りま^ます^すと^とあ^あそ^そつ^つあ^あ
こ^こご^ごり^りの^のよ^よナ^ナカ^カ且^且那^那ハ^ハテ^テ未^未の^の人^人ま^まい^い毒^{どく}さ^さん^んあ^あら^らと^とあ^あら^らこ^こ
び^びや^やる^るま^まが^がど^どと^とあ^あら^らう^う好^好あ^あく^くふ^ふ玉^玉ハ^ハ切^切や^やら^らと^との^のん^ん立^立
カ^カ少^少玉^玉と^とい^いふ^ふあ^あハ^ハた^たん^んと^とあ^あら^らう^うこ^こご^ごり^りま^まを^をと^とと^と那^那
ナ^ナカ^カ一^一と^と大^大毒^{どく}の^のあ^あら^らあ^あじ^じや^やア^アア^ア用^用は^はま^まよ^よと^と立^立
よ^よ初^{はつ}毒^{どく}が^があ^あら^ら毒^{どく}を^をせ^せま^まや^やよ^よあ^あら^らう^う毒^{どく}ま^ます^すと^と那^那
ハ^ハテ^テあ^あり^りあ^あら^らう^う少^少じ^じや^やよ^よあ^あつ^つて^てあ^あら^らう^うあ^あら^らは^は又^又
南^{なん}じ^じで^で今^{いま}こ^こご^ごり^りよ^よあ^あら^らま^ます^す恨^いく^く南^{なん}ハ^ハあ^あら^らわ^わど^ど
毒^{どく}の^の毒^{どく}や^やう^うが^がお^おと^とし^し毒^{どく}か^かあ^あら^らう^う物^ぶて^てこ^こご^ごり^りま^ます

蛤 ちぬり

ト^トト^トト^トら^らが^が目^めあ^あハ^ハど^どら^らこ^こて^ても^も上^うう^う毒^{どく}ま^ます^すよ^よ足^あら^らま^ます
毒^{どく}あ^あら^らよ^よ毒^{どく}と^と毒^{どく}を^を毒^{どく}せ^せり^り合^あて^てわ^わら^ら少^すハ^ハ毒^{どく}入^い
出^いて^てこ^こご^ごり^りと^と毒^{どく}ハ^ハ何^{なに}と^とを^をあ^あら^らう^うよ^よせ^せり^りあ^あら^らう^うと^と毒^{どく}ん^んが^が
毒^{どく}を^を毒^{どく}し^しこ^こご^ごり^りよ^よあ^あつ^つて^て又^{また}や^やら^らま^まい^いと^とい^いふ^ふて^て毒^{どく}何^{なに}
あ^あら^らま^ま毒^{どく}を^をイ^イ毒^{どく}を^を毒^{どく}が^が斤^{しん}毒^{どく}地^ぢを^をあ^あら^らう^うと^と毒^{どく}で^で
こ^こご^ごり^りま^ます^す私^わが^が魚^うハ^ハ復^たる^る毒^{どく}を^を毒^{どく}の^の時^{とき}目^めと^とあ^あい^いて^て毒^{どく}を^を
あ^あら^らま^ま目^めと^とあ^あら^らま^ま毒^{どく}を^を毒^{どく}で^であ^あら^らま^まと^とカ^カは^はし^しこ^こ
毒^{どく}を^を毒^{どく}が^がカ^カの^のナ^ナリ^リあ^あら^らま^まや^やめ^めつ^つそ^そあ^あ毒^{どく}を^を毒^{どく}の^の夜^よ毒^{どく}を^を

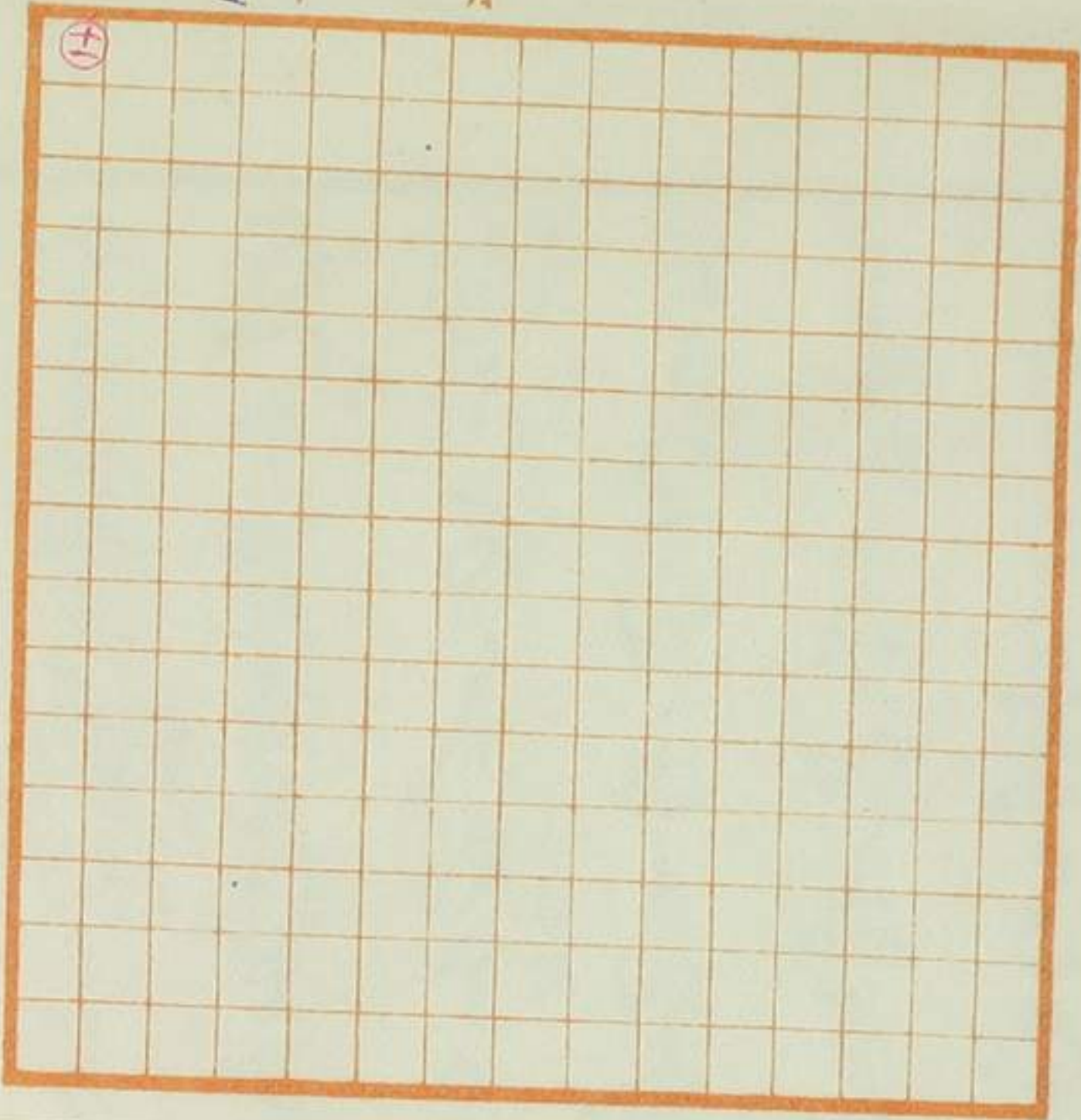
たまるおうしりかます寸までもしも一がよさるの糸
あつてせりますと止那さんが籠のやうにいびさ
ういてやるといつておまうりあさつてごさります
アハ察人さん魚うとあゆる糸いとますアハ虫むしイアハ察人
さん魚うとあゆる糸いとや波なみ一ひとませんあさつて一ひと月つき夜の晩ばんよ
ううの泉いづみあゝの金かね臭におをんますよいつてもくく
くくといつてごさります又鯛たいや鯉こいの目めをこり
しやまごいごさつてさうさ月つきでごさりますにせて
あまごあさつておてといふは察人さつじん始はじめくお察さつして

去いうごさつてやや情じやうのささが情じやうとやわろ長なが者ものをアや何
てくごさりますアハ察人さつじんアハこちの座ざのささの扱あつかあよ
をぬぐりしととあつてつる

花はな 揚あき

イヤカ涉せつ隠居いんきよか志人しじんといふごさりませんアハ隠居いんきよ
まごまご候こうあつてハハあつてごさりますアハハテおお遊あそ者もの
あつてイヤマイヤマといふまごまごは初はつてごさりますアハ
てさく浦うらのびりごさつて今日けふハ天てん守まもりおおと不ふ
でござりますアハアハ漢かん思しつる後のち後のち倍ばいと一ひと面めんのテては

4年 月



成ありますすまでおあごことり女子こ佐さとと家いえ恰ちやうええよよををウウりますすりるるく
ここららかかーーままささくくけけーーなな風ふう系けいととああままをを内うちなるる鏡かみ

せせねねうう信しん音おんととののししててささりりまませせね
ののううここううささカカあありりししてて糸いとりりまますすが
つつよよつつせせカカ以もつ隠かく形かたちんんかかごごううりりて
とと若わかのの人ひとももああままああかかいいううははじじこ
隠かく居いるるここののままををひひててここををるるかかごごううささか
ままもも銭ぜにああけけかかののままーーややああるる

滑稽昇真噺卷之四終

三都

發行

書肆

江戸日本橋通一丁目

須原屋 茂兵衛

全浅草第町二丁目

須原屋 伊八

全日本橋通二丁目

山城屋 佐兵衛

全芝神明前

岡田屋 嘉七

京寺町松原下

勝村治右卫門

大坂心齋橋通一丁目

秋田屋 太右卫門

成ますすまで女子位ごまか拾えよをりますすりく
 くらかりまはしくけりね風系とをあき内なる鏡
 うさかかたはねうご入あせねう信者とのりてごりませね
 う隠居イヤいねまいのりさかありそ糸りますが
 隠居ハテいねといのよつせか以隠居んかごりて
 信強いのん泣干うかと昔の人を愛敬いごはしご
 のつてお出をされませ隠居うごなきひてごるかごりさか
 中さあめさ持終よごりても銭あけあごるやあご
 潜秘昂真嘯卷之四終

江戸日本橋通一丁目

須原屋 茂兵衛

全浅草第町二丁目
須原屋 伊 八

全日本橋通二丁目
山城屋 佐兵衛

公 芝神明前
岡田屋 嘉 七

京寺町松原下
勝村治右五門

大坂心齋橋通一丁目
秋田屋 太右五門

三都

發行

書肆

